



千年村チェックリスト Ver.2.2

千年村チェックリストは、環境・集落構造・地域経営・交通の観点から千年村認証を行うためのものです。

※チェックリスト記入マニュアルや、記入の事例を参考に記入して下さい。

※記入の際は、個人だけでなく複数人で相談することを推奨します。

※提出の際には必ず自治会長など集落を取り仕切る方の確認を取ってください。

※固有名詞などはできるだけ具体的に記入してください。

※出典は必ず明記して下さい。

※このチェックリストの無断転載は禁止します。

2017.03.31 千年村プロジェクト

以下、記入欄

○記入者情報

代表者（自治会長など）

氏名：浅野和可（あさのかずよし）

提出日 2017年3月31日

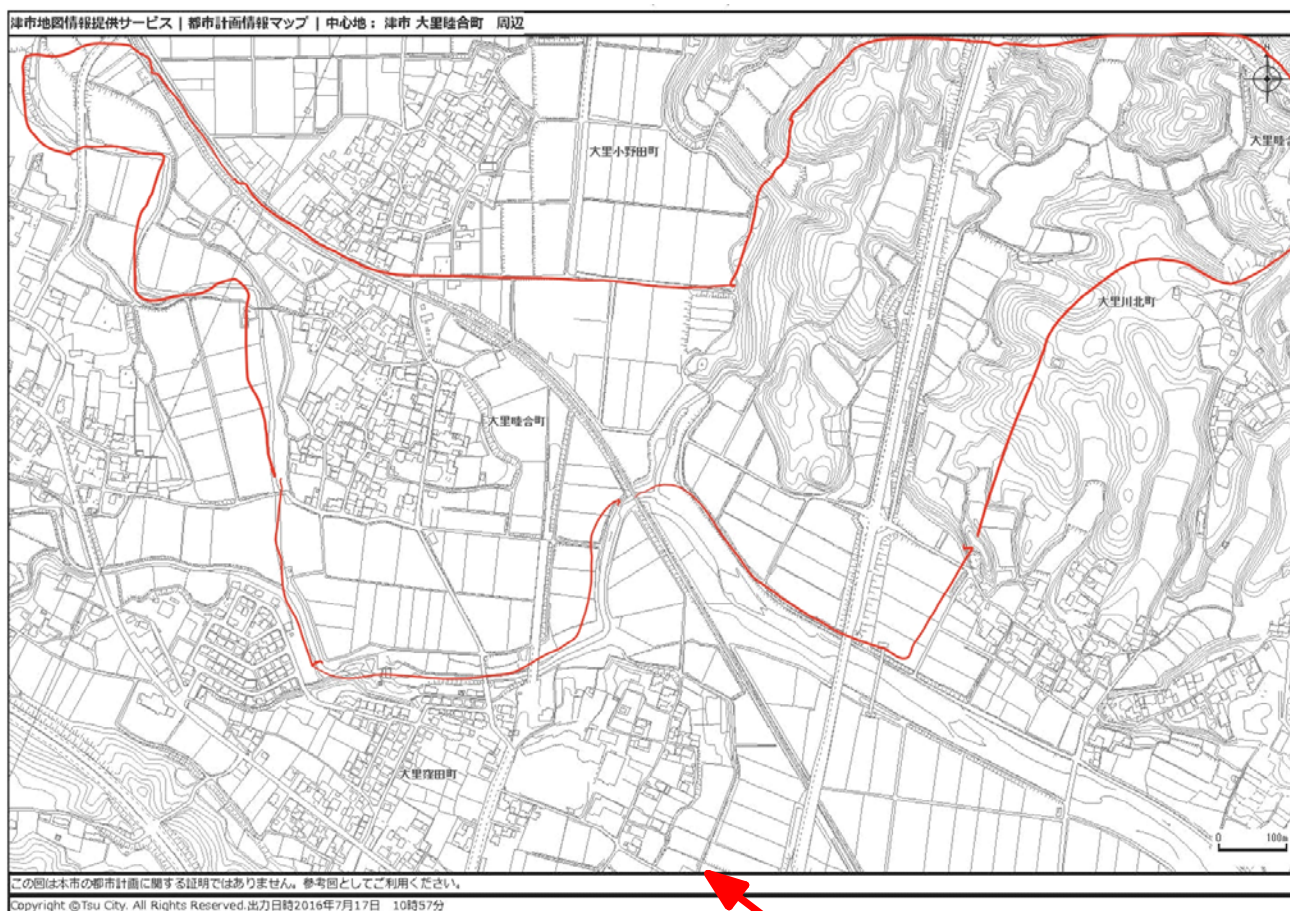
肩書：東睦合自治会長

作成日 2017年3月21日

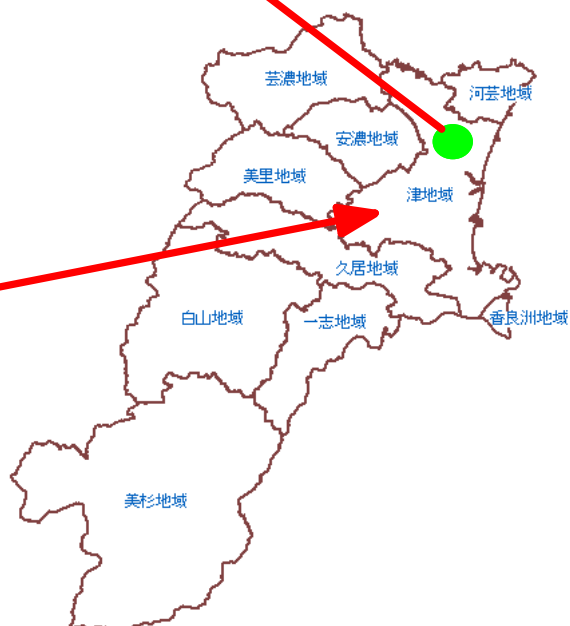
0 集落の概要

集落の 名称	現在の地名（大字） かな つしおおさとむつあいちょう 津市大里睦合町		歴史的地名（参照した古文書の名称とその成立年代） かな あんきぐんたいごう 奄芸郡田井郷（和妙類聚抄931-938）	
所在地	大字まで書いて下さい。 かな 三重県津市大里睦合町			
面積	(H28 年度) 0.7 km ²	人口	(H28 年度) 約120人 人	世帯数 4 4 世帯
合併の 歴史	年月日、地域の名称の変化など、分かる範囲で書いて下さい。 平安時代「田井郷」として和妙抄に登場後、江戸時代には紀州徳川家の飛び地。 明治8年（1876）隣村の野崎と合併して「睦合」、明治22年（1889） 他6字と合併して「奄芸郡大里村睦合」になる。昭和31年（1956）高野尾と 合併して「奄芸郡豊里村睦合」、昭和48年（1973）津市に編入して 「大里睦合町」となる。			
地域の 記録	○○村史、○○市史など地域の記録はあるか（対象大字より広範囲のものでも可）。その発行年・著者。 大里村史 昭和34年 大里村史編纂委員会			

現在の津市大里睦合町東睦合地区



三重県
(緑色が津市)



津市
(緑の点が田井郷)

I 環境 —自然とのつきあい方—		
番号	ポイント	
①	集落のかたち・立地 古いところ	例) 古い集落はどんな地形に立地しているか。どこの水系に属しているか。また、街道やみなととの関係はどうか。旧河道はどこを通っているか。 志登茂川水系。 微高地、段上住所。現状の土地区画のまま変わっていない。
②	生産地（農地や工場など） の立地	例) 農地、工場、商業地、漁業、林業などはどこに立地しているか。圃場整備の範囲はどこか。工場、商業地がいつできたか。耕作放棄地や空地がどこにあるか。旧河道はどう利用されているか。 段下一面に水田がある。圃場整備が30年前に行われた。
③	主要産業・特産物	例) 現在の主要産業は何か。働き先はどこか（集落内外）。かつての主要産業は何か。特産物はあるか。 水田を使った米（近年は主にこしひかり）の生産。 畑での自家用野菜。
④	水源と水の引き方	例) 農業用水の水源は何か。生活用水の水源は何か。井戸が残っているか。地域内の水路はどこを通っているか。 安濃ダムより自然放流がパイプラインで来ている。 志登茂川からの採水。ため池を利用。
⑤	近年の土地開発について	例) 昭和 40 ～ 60 年代、平成、最近 5 年程度に行われた開発はそれぞれどこか。開発前の土地利用は何か。開発によって商業、交通などどんな変化が起きたか。 40年前に開発された住居団地（豊郷第二団地）。 津市内から核家族などが移住。 事業者が山林、畑を転用。
⑥	過去の災害とその対策	例) 災害危険区域はどこか（ハザードマップなど）。過去、どのような災害があつて、どこに逃げたか、その協力体制。どのような災害を心配しているか。集落内の安全な場所と危険な場所。 伊勢湾台風で水田は被害を受けたが、住宅地に水は上がらず。 500年前に地震があつた。 基本的にはきわめておだやか。
⑦	その他	自由記述・図示など。

Ⅱ 地域経営 ー集落を支える仕組みー		
番号	ポイント	
①	各種組織	例) 行政区、町内、班といった地域的な組織の構成および目的別の組織（消防団、氏子、講など）にはどのようなものがあるか。可能な限り連絡先を記入して下さい。 ごく一般的な、消防団、春秋の祭礼、町内会（自治会）がある。自治会は、地域の景観維持と防災のたきだし訓練を兼ねた「地域を守る会」を結成してコスモス祭りを行っている。地蔵盆、百万遍はあるが講はない。
②	地域内での情報伝達、連絡の方法	例) 地域内での情報の共有や連絡はどのように行われているか。（回覧板・ウェブサイト（URL）・公民館便りなど） 回覧板による自治会だよりの回覧
③	山林、里山また湖などの管理主体	例) 地域に共有性のある土地利用（入会地など）が行われているところはあるか。その利用主体の組織はどのようにになっているか。 個人所有、入会地なし。
④	水の管理主体	例) 水門、水路などの水利用施設の維持管理を行う組合、組織はあるか。農業用水以外の水利用に関わる組織はあるか。 東睦合水利組合というものがあり、当番制でおこなう。
⑤	地域祭礼・年中行事	例) 祭礼についてその概要や成立時期、祭礼と地域住民の関わりはどうなっているか。また地区対抗運動会など地域が参加する年中行事はあるか。 延喜式の多為神社の祭礼がある。
⑥	地域の歴史・物語の伝承	例) 地域の歴史や物語などを伝える活動、組織（郷土史会、歴史遺構の広報活動など）はあるか。可能な限り連絡先を記入して下さい。出版物には出版年・著者などを記入してください。 合併し津市の一部となって以来活動がない。合併前に大里村史（大里村史編纂委員会 1959）を編纂。
⑦	口伝・通称の地名	例) 住所表示や地図には存在しないが地域で共有されている場所（山、集落、田、川など）の呼称、通称地名はあるか。（フリガナをつける） 住所ではないが田に字名がある。（古川ふるかわ、前沖まえおき、宮前みやのまえ、河崎こうぎき、作田さくた、雉の木きじのき）
⑧	その他	自由記述・図示など。

Ⅲ 交通 一人とモノの往来		
番号	ポイント	
①	昔からの道	例) 古くからある道で名称、種別、用途、起源などがわかるものはあるか。また、どこにつながっていたか、主に何を運んでいたか。 伊勢別街道があり、伊勢神宮に通じている。
②	現在の主要な道路	例) 現在の生活の中で主に使われている道はどれか。その名称、完成時期などとそれぞれの利用方法（〇〇へ行く道、集落内移動、さんぽなど） 伊勢別街道は県道10号線（津関線）となっている。 国道23号線バイパスがあり、四日市を経て名古屋につながる。
③	建設予定の道路の有無	例) 地域に影響がありそうな道路の新規建設計画、拡幅などの改良計画はあるか。その名称、完成予定時期、目的、また集落の存続に与える影響など。
④	水運の有無と利用法	例) かつて使われていた水上交通（川、堀、河岸、港など）はあるか。それらは、どのように使われていたか。今はどうか。 二級河川志登茂川およびその支流。 5 kmほど下流で伊勢湾に流れ込む。
⑤	鉄道の有無、その経緯と現状	例) 地域に関わりのある鉄道はあるか。廃線になったものも含めて、その路線、駅、主な用途、時代的变化などはどうか。 すぐそばをJR紀勢本線が通るが、 集落は一身田駅と下庄駅の間にあり、どちらも不便である。
⑥	その他	自由記述・図示など。

Ⅳ 集落構造 — 集落の骨格 —		
番号	ポイント	
①	集落の核	例) 古いと言われている場所、集落の起源とされている場所はどこか。皆が中心だと思える地区、寺社、本家などは、どれでどこにあるか。 道路は拡幅しているが形は変わっていない。 住居約300坪。大きな家には10人以上。 長男以外は出て行った。
②	墓地の場所と現状	例) かつての埋葬地はどこか。墓地はどこか。その成立時期、管理方法（一族的管理、宗教施設による管理など）に特徴があるか。 前田川の際に田井の墓所がある。管理は村で八軒で管理する。 ※ここでいう管理は、3箇所ある墓所のうちの一つについてであることが現地審査にて確認された。 (追記：千年村プロジェクト)
③	集落の維持について	例) 道、石積み、建物などの建設に携わる専門職はいるか。在来工務店はあるか。地場的な素材利用はしているか。 昔は大工の指導の下、村人で協力して家を建てていた。 17・8年前が最後。 村に工務店はない。
④	文化・自然遺産の有無	例) 遺跡や旧跡、古民家、古さを示す自然物（御神木など）、古くからある土木構造物はあるか。その年代はいつか。 延喜式の多為神社がある。 また、大里村史によると、古墳があったようである。
⑤	集落の型	例) 集落のかたち。地形や水路との関係はどんなふうか。集落内の民家、敷地に共通点はあるか。○○造り等の名称はあるか。(可能であれば図示) 住宅は基本的に、母屋、離れの構造。納屋小屋も各家にあり。
⑥	暮らしの工夫 村での発明	例) 集落における面白いモノの利用（独特な軒下の形、水場の使い方など）、そのための小さな発明。修繕のしかたなど。
⑦	その他	自由記述・図示など。 氏神・・多為神社 延喜式内、天之穂日命、菅原道真（大里村史） 寺院・・千福寺 承和年間（834-848）、真言宗醍醐派（大里村史） 実相寺 天昇年間（1573-1593）、真宗高田派（大里村史）

自己評価

これまでのチェックリストを振り返り、環境・集落構造・地域経営・交通の各要素について以下の4段階評価を行ってください。

そして、その理由を記述して下さい。また、自己評価をもとに、集落についての総合評価を行ってください。

○自己評価：A・・・優れている B・・・やや優れている W・・・弱い

要素	自己評価	理由
環境	A	気候も穏やかで、災害も少ない。 河川も数本あるので採水も容易にできる。 津市中心部からのアクセスもよいので、 非常に恵まれた環境である。
地域経営	B	自治会の活動がしっかりしており、 住民の帰属意識が高く保たれている。 しかしながら、現在の60代の後の世代に継承されていない。
交通	B	伊勢神宮に通じる伊勢別街道が近くにあり、 新しいバイパスも開通し車でのアクセスはよい。 ただし、電車の駅が近くにないので車がないと不便。
集落構造	A	集落に延喜式の神社、寺院、墓所があり、 集落維持の活動と結びついている。

総合評価

自己評価をもとに、この集落がなぜ千年村であるか、どのような点で千年村として優れているのかなど、自由に記入して下さい。

また、それらが千年村認証基準のどの項目を満たしているか記入して下さい。

田井郷は、緑が広がる懐かしい景観の里山でありながら、
伊勢神宮に通じる伊勢別街道に沿った位置にあることで交通の便がよく、
政治、経済の中心部である津市や鈴鹿の漁港までのアクセスにも優れています。

地形的には住居部分は微高地にあり、眼下に水田に適した湿地が広がっています。
気候も温暖で雪も少なく、これまで激しい地震や津波、洪水などの大きな被害はありませんでした。

これらのことは、財産や文化を継承するという点で集落の継続性に大きく寄与しており、
その結果、住民も穏やかで前向きであり、自治を重んじ、
基本的には保守でありながらもゆるやかな変化を受け入れる構えがあると感じられます。

現在も延喜式の氏神や、寺院での行事を中心にした自治が行われており、
行政の方針に対する集落内での判断が、是々非々で行われていることは自治精神の現れだと感じます。

以上のことより、私たち田井郷は千年村の要件を満たしていると考えます。

キャッチフレーズ

集落のキャッチフレーズづくりに挑戦してみましょう。これまでの記述を踏まえて、この集落の持続要因を一言で表してみてください。

自治を支える田んぼと知恵 田井郷

集落の写真など



全景



全景(秋)



コスモス祭り